

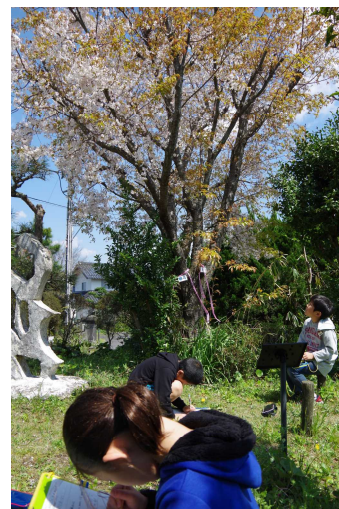
学校の樹木観察園誕生の話 ～30年以上の歴史をもつ前庭樹木園～

本校には、地域の皆さんの学校に対する思いや願いを形にした様々な「もの」が引き継がれ、日常の風景に溶け込んでいます。その中のひとつに、「樹木観察園」があります。学校東側の「前庭」と呼ばれている庭がそれにあたります。この庭園は、昭和60年3月に二宮金次郎像の再建事業にあわせ、100万円の事業費をかけ、児童が四季折々の花々を眺め、自然と植物の学習ができる環境として整えられたものです。当時の記録によれば、

現在の樹木を生かしながら、小道の周辺に四季の花木を配する。

- ・花木は下記の中で手に入りやすいものから選ぶ。
 - 春…梅（白梅・紅梅）、コブシ、ジンチョウゲ、ドウダン
 - サンシュユ、ライラック、コデマリ、雪柳、桃
 - 夏…エニシダ、サルスベリ、フジ、アカシア、卯の花
 - 秋…ムクゲ、キンモクセイ、ニシキギ
 - 冬…カンツバキ、ロウバイ、寒紅梅
- ・花木に名札をつけ、子ども達が知らず知らずのうちに覚えるようにする。

▶ 樹木観察をする児童



樹木観察園開園後は、当初のねらい通りに季節ごとに花木が花をつけ、30年以上にわたって子ども達をはじめ、学校を訪れる人々の心を癒してくれる場となっています。

しかし、整備から32年という月日が経過し、花木にかけられた樹木名板も老朽化しました。そこで、県緑化推進委員会の推薦を受けて「学校環境緑化モデル（ローソン）事業」へ申請した結果、島根県から隠岐・西ノ島小学校と本校の2校が事業採択となりました。事業内容（50万円助成）は、

- QRコード付き樹木名板設置費用 ○ 樹木観察園の由来紹介看板設置費用
- 地域配付チラシ作成費用 ○ 園内へのベンチ設置費用
- 観察園剪定作業費用

11月中旬までに事業を完了し、学校において完成式を行う予定です。地域の皆様にも学校を訪れていただき、楽しんでいただける場となるよう環境整備に今後も努めて参ります。整備が完了しましたら、地区内全戸へお知らせをいたします。その際には、ぜひ学校の樹木観察園へ、スマートフォン等を片手にお立ち寄りいただければと思います。

また、本校は平成30年度から「緑の少年団」（県登録済）を結成し、活動を開始することにしました。

実際に観察園へ植栽された花木

【春咲き】

梅（紅・白）、コブシ、沈丁花、ドウダンツツジ、サンシュユ、ハナスオウ、レンギョウ、レンゲツツジ、ボケ、白モクレン、シャクナゲ、ハナミズキ、ヒラトツツジ、ハナカイドウ、エニシダ、キリシマツツジ、トサミズキ、コデマリ、ロウバイ

【夏咲き】

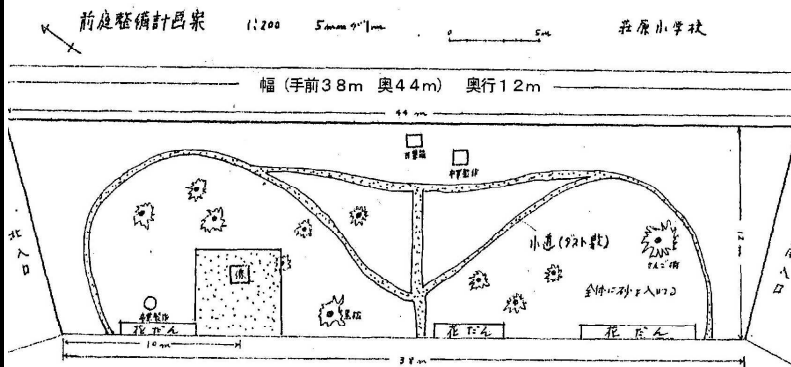
タイサンボク、エニシダ、ムクゲ、トチノキ、アオキ、シャリンバイ、アベリヤ

【秋咲き】

キンモクセイ、サザンカ、ツバキ、ムラサキシキブ、ニシキギ

【冬咲き】

アセビ、カンツバキ



【▲ 樹木観察園の設計構想図から（S60）】